

## 令和4年（2022年）2月5日（火） 北横岳（2480m）

比較的安全に雪山を楽しむことが出来る北八ヶ岳の北横岳（2480m）に登ってきました。北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅からスタートして、北横ヒュッテを経て北横岳南峰、北峰に立った後、同じコースを下るルートです。

従来クマさん会では、この山に登るのに中央線茅野駅から北八ヶ岳ロープウェイ行きの路線バスを利用していました。下山後のバス便が少なく不便を感じていました。積雪時の道路管理もしっかりしていることが確認出来たので、今回はレンタカーを利用することにしました。時間を気にすることなく行動できる便利さに加え、費用的にも安いことが分かりました。

参加者は熊本さん、池戸さん、吉松の3人です。

レポート：吉松



新宿駅7時発松本行きの特急「あずさ1号」で茅野駅へ向った。

熊本さんは新宿駅で乗車



池戸さん、吉松は八王子駅から乗車した。



コロナのオミクロン株が猛威を振るい始めた時期とぶつかって乗客は少なかったが、登山姿の客は比較的多いように感じた。マスク着用は必須、おしゃべりは極力控えめが車内のルール。（・・・池戸さん、マスクは？）



車窓から熊本さんが撮影した富士山

この日は天気が大変良かったが、やはり高い山には雲が架かっていた。



9時07分 茅野駅到着

天気に恵まれたこともあって、ご覧の通りホームの階段は登山客で一杯  
路線バスに乗るためなのか、皆急ぎ足で改札に向っていた。



我々3人は、茅野駅西口から徒歩2分のトヨタレンタカー駅前店で車を借用



道路には積雪も無く、凍ってもいなかった  
ので快適に走行することが出来た。

路線バスよりはかなり速く、10時にはロープウェイ山麓駅の駐車場に着いてしまった。  
車利用は便利なもので、登山に不要な荷物は全て車に置いていくことにした。





スキー客が多いことと一度にゴンドラに乗せる人数を絞っていることもあって、いつもは20分間隔のロープウェイが10分間隔で運行していた。

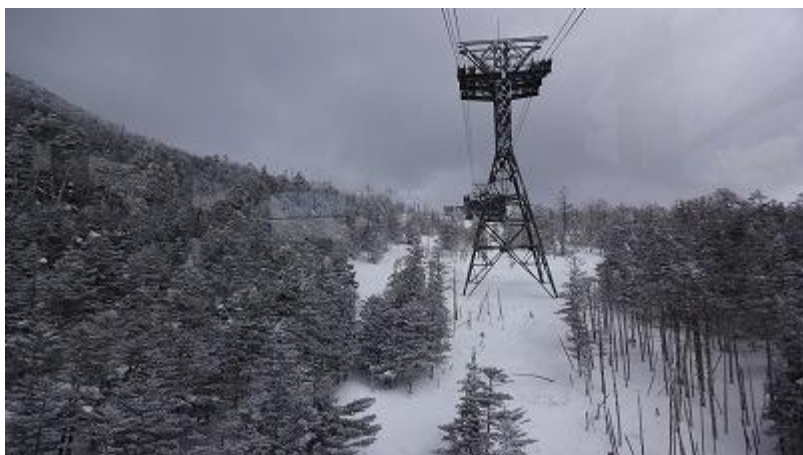
我々は10時20分山麓駅発のゴンドラに乗ることが出来た。計画よりも20分早い。



10時20分発のゴンドラに向う乗客

ゴンドラ内はコロナ感染対策で一切の会話が御法度

一寸しゃべろうものならすぐ注意される！



10分足らずで山頂駅（2237m）



山頂駅の無料休憩所で、まずは雪山登山のための準備を済ませた。

風は左程でもないが、やはり高度が上がって寒い。



早い昼食をとった。

恒例のようにアルコールが出てきて、身体の内側から暖めることにした。



準備万端整ったところで頂上駅から出ると、ご覧の通りの雪景色

早速アイゼンを装着



「坪庭」標識をバックに出発前の勇姿



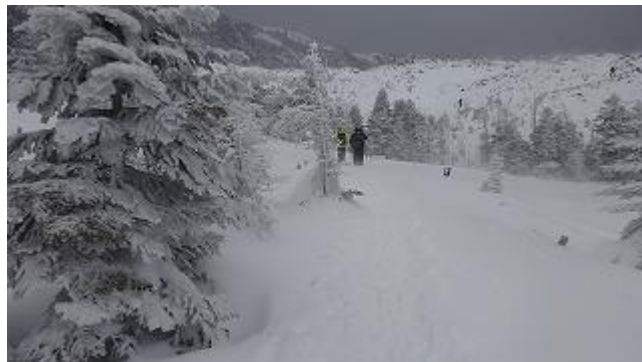
11時10分

北横岳を目指して出発



樹林に囲まれていない坪庭辺りは、時々雪煙を上げて風が通り抜けて寒さが身にしみる。  
汗は禁物なので、ゆっくりゆっくり進むことにした。





車窓からは青空も覗いていたが、行く手の山には雲がしっかり覆っていた。

締まった雪道は歩きやすく、歩く度にギュギュと鳴る音が心地よい。



11時30分

樹林帯に入ってしまった。木々が風を遮ってくれるので少しは寒さも緩む。

この辺りの木は霧氷か？  
樹氷にはなっていないようだ。







11時50分

小休止

ゆっくり登っているなので、ほとんど汗をかくことは無い。汗をかかないのが、特に雪山では肝心なのだそうです。



12時05分

北横岳ヒュッテに到着

ここから先はかなりの急登になるので、暫し休憩することにした。  
熊本さんは、ここにザックを置き、ストックをピッケルに代えて登ることになった。

ヒュッテ周囲の木々はすっかり雪をかぶって、樹氷と化していた。

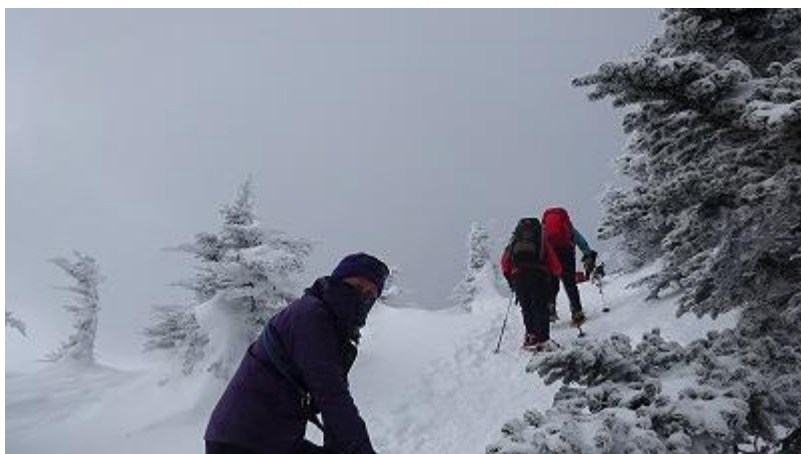


12時10分

ヒュッテを後にして、いよいよ最もきつい急登に向って出発



途中すれ違った登山客に、熊本さんが80歳であることを告げると、感嘆の声を上げていた。



もう少しで樹林帯を抜ける。



樹林帯を抜けると、もうそこは山頂だ。

幸運なことに青空が出てきて、一気に視界が広がってきた。



12時30分

北横岳南峰（2473m）に到着





北西の方角に蓼科山（2531m）も望める。

山頂ではさすがに風が強く、集合写真に掲げるクマさん会旗が激しくはためいた。  
青空が出たお陰で、遠くの蓼科の村落も写真に収まった。



熊本さん（写真右）は北峰には行かず、先にゆっくりと北横ヒュッテに下っているとのことだった。  
池戸さんと吉松の2人で北峰まで足を延ばすことにした。





池戸さん（写真下の赤いブレーカー）は早い。  
登山者の集まっている北峰に向けて駆けるように進んでいった。



吉松も追いかけるようにして峰を目指した。



12時30分

北横岳北峰（2480m）に到着



樹氷撮影も一段落して、下山を開始  
まずは、熊本さんの待つヒュッテを目指した。



雪の積もった下山道は快適だ。



12時50分

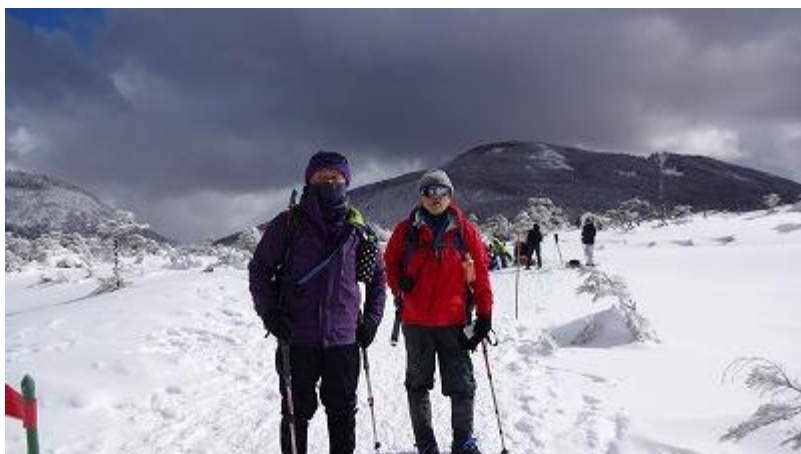
北横ヒュッテに戻ってきた。

熊本さんは腰掛けて我々を待っていた。



ヒュッテで小休止の後、坪庭に向けて下山  
開始

雪道の登山道は歩きやすく早い



快調に樹林を抜けて平坦な坪庭へ

朝方よりも風が弱い





13時20分を過ぎた頃にはロープウェイ  
頂上駅の建物が見えてきた。

13時30分、山頂駅に無事到着



急いでアイゼンをはずし、13時40分発のゴンドラに飛び乗ることが出来た。



すべてが順調に行き、予定よりも1時間以上  
早い下山となった。



ロープウェイ山麓駅の休憩所で、熊本さん持参の紅茶を頂きながらゆっくりと荷物の整理

あとは温泉に入って汗を流すだけだ。

朝方茅野駅から通ってきた道すがら見つけた日帰り温泉を目指したが、生憎今日は臨時休業やむを得ず、いつもの「望岳の湯」に行くことにした。こんな時車は自由がきいて便利だ。



クマさん会にとっては馴染みの「望岳の湯」に15時前に到着

コロナの蔓延防止措置発令中とあって、食事処は休業で風呂も黙浴せよとのこと。3人とも30分くらいで湯から出ることにした。



温泉から出ても休む場所が無く、軽く飲むことも出来ず、早々に玉宮温泉を後にすることにした。



車を返却して茅野駅周辺の蕎麦やで軽く飲もうかと店を物色するも、時間が早すぎて良い店が開いていない。  
やむを得ず駅に行ったら、うまいこと16時20分発の特急あずさ44号に乗れそうだ。  
缶ビール3缶、日本酒「真澄」3カップを買い込んで、車中で静かに祝宴を挙げることにした。



16時20分

特急「あずさ44号」入線

気の利いた(?) 駅員が座席を手配してくれたようで、我々が座った前後の席はガラガラ  
黙飲、黙食、マスク装着に気を配りさえすれば、静かに祝杯を挙げても迷惑を掛けそうに無い。  
缶ビール、カップ酒そして持参の酒とおつまみで、今日の快挙を祝うことになった。



4年振りの雪の北横岳登山になりました。

先回は路線バスの運行タイミングが悪くて温泉に入れませんでしたので、今回はレンタカーを利用しました。  
登山に不要な荷物を車中に置いておくことが出来るし、行動にも融通が利いて中々便利でした。

令和4年に入って大山、竜ヶ岳に続いて3回目の登山行でしたが、温泉で汗を流せたのは今回が初めてになりました。大山では下山後すぐに猪鍋&お酒で酔ってしまって入浴断念、竜ヶ岳では思わぬアクシデントでやはり入浴出来ず。今回は令和4年のクマさん会初入浴となったわけですが、下山後の入浴は棄てがたいものと改めて思った次第です。

クマさん会 N 嬢が盛んに北横岳登山を希望していたのですが、直前になって都合が出来て参加を断念。本人も楽しみにしていたので残念でした。